

妖都

78代白

大名/家臣

妖都を治める大名と、
それに仕える忠義厚き家臣。
異国の脅威から妖怪たちを
守るため刀を携え立ち向かう。



天狗

妖都に人間と共に生きる妖怪の一人。
力強く、威厳ある妖怪。
大名のピンチに乗りうちはさ携え
参上する。

猫又

妖都に人間と共に生きる
妖怪の一人。
美しく妖艶な媚の妖怪。
人々を妖艶の夜へと誘う。



女中

大名の妻とその使用人である女中。
江戸から帰る大名と家臣たちを
提灯を持ってお出迎えする。



異国人傭兵

鎖国の終焉とともに来日し、
妖怪退治を掲げ、妖都の平和を
脅かす異国の傭兵。



祭来

人と妖が心を通わせる祭を
執り行い、二つの世界を競ぶ者たち。
古くより、その祭は人と妖が
共に過ごす場として
受け継がれてきた。



あらすじ

時は江戸末期。
妖怪と人間が共存する街「妖都」。昼は人の世、夜は妖の領分であるこの街。
その地を治める大名が江戸での勤めを終え、妖都へと帰る。
大名に使えし女中らがお迎えする。
その日の夕、妖怪と人間が共に祭りを催す。祭りが盛り上がりを見せるなかその裏では、
鎖国が解かれた今日の日本には異国の者が入り込んできた。
この妖都にも。妖怪の存在を知らない傭兵が妖怪を討伐しようと動き出していた。